

中部横断自動車道(新清水JCT～六郷IC間)

現場視察資料

平成30(2018)年11月30日

国土交通省関東地方整備局
甲府河川国道事務所

中日本高速道路株式会社東京支社
清水工事事務所
南アルプス工事事務所

【本日、ご説明させていただく事項】

○中部横断自動車道について、今年度内に

- 1)新清水JCT～富沢IC(21km)
- 2)下部温泉早川IC～六郷IC(8km)

の開通予定。(これにより、山梨・静岡間の約7割(54km/74km)が開通済となる予定)

現地は、両区間ともトンネル、橋梁は完成しており、設備・施設工事など最終段階の工事が全面展開中。

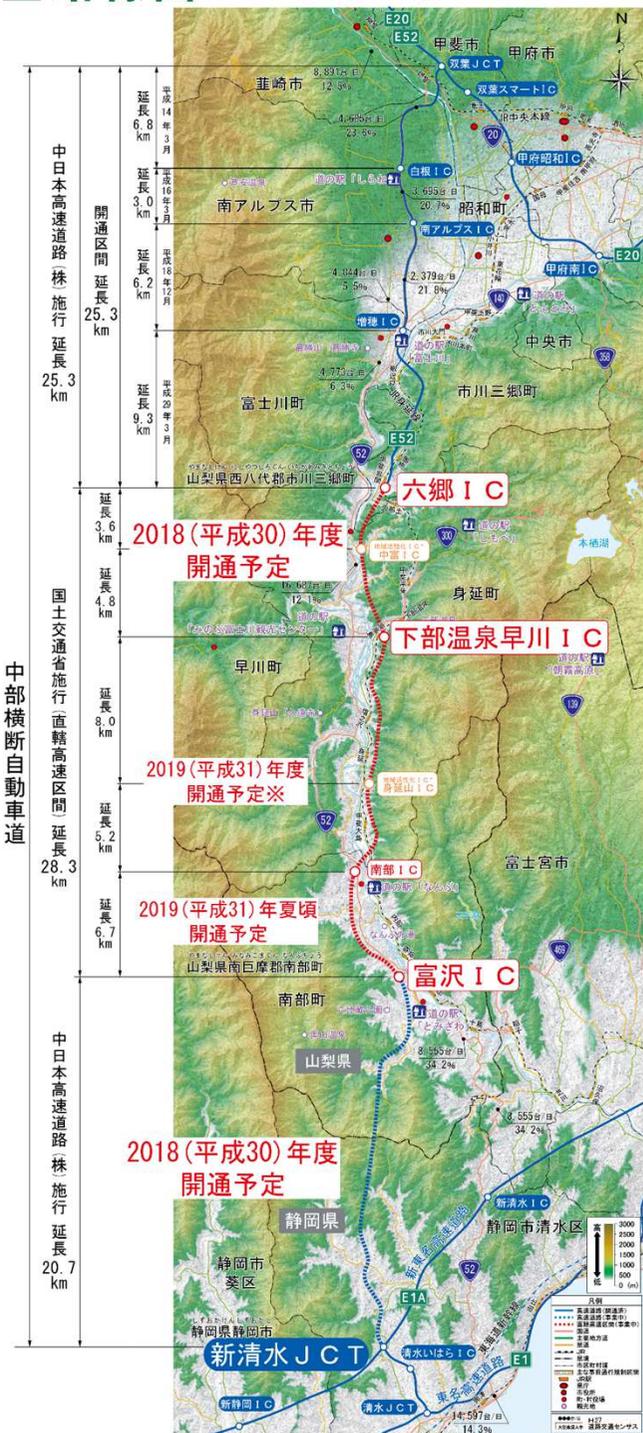
○この2区間が開通することにより、

- 1)山梨県内(南部町)が初めて新東名・東名とネットワークで繋がる
 - 2)中央道から下部温泉(身延町)まで高速道路で繋がる
- など、山梨県・静岡県の所要時間が現状の約2時間30分から約2時間へと、さらに約30分短縮。

○この時間短縮が、地域の取組とあわせて、物流の効率化、観光周遊の拡大等に繋がっていくことを期待。

中部横断自動車道 (新清水～六郷)の概要

■ 路線図



■ 計画概要

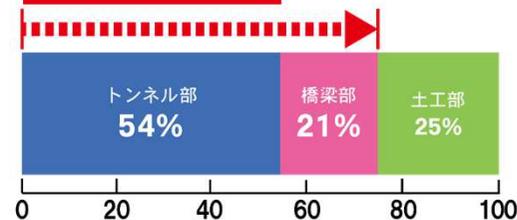
- 路線名 中部横断自動車道(新清水～六郷)
- 区間 自) 静岡県静岡市 至) 山梨県西八代郡市川三郷町
- 延長 49.0km
- 車線名 4車線(当面2車線で整備)
- 構造規格 第1種3級
- 設計速度 80km/h
- 幅員 20.5m(当面10.5mで整備)

■ 構造物の割合

多くのトンネルと橋を有する高速道路

中部横断自動車道(新清水～六郷)には、多くのトンネルと橋があります。
延長49kmのうち、約75%はトンネルや橋梁です。

全体の約75%



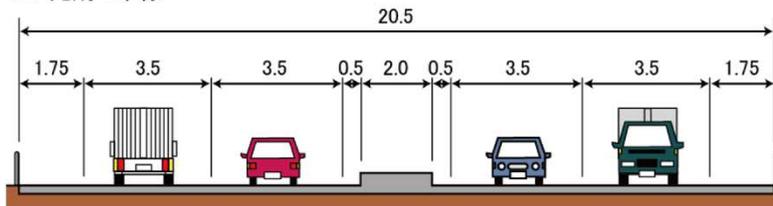
- トンネル：27本
- 橋梁：54橋

* 地域活性化ICとは、地方公共団体が主体となって発意し、整備する追加インターチェンジです。
※トンネルの進捗が順調な場合

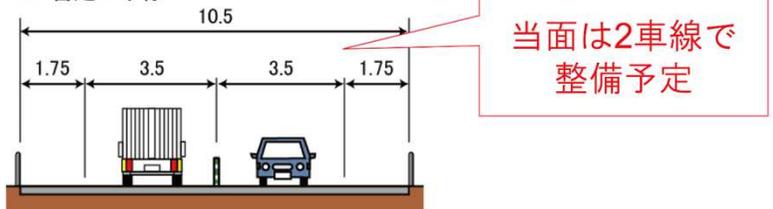
この地図は、国土地理院長の承諾を得て、同院発行の数値地図50000(地図画像)を複製したものである。

■ 横断面図

■ 完成4車線



■ 暫定2車線

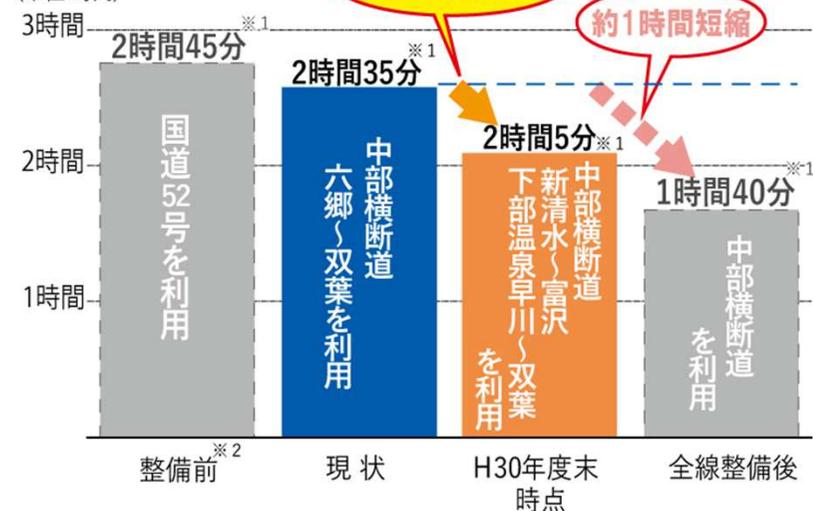


当面は2車線で整備予定

■ 移動時間

山梨県から静岡県までの移動時間が短縮されます。

(単位:時間)

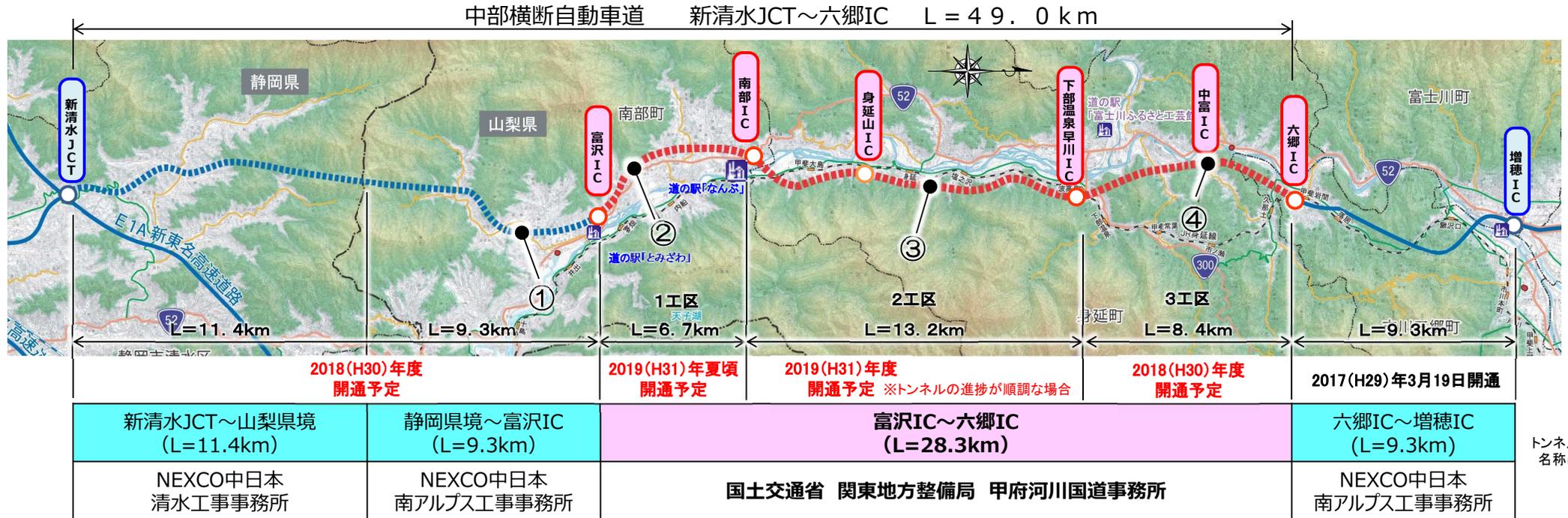


※1. 高速道路、一般国道、主要地方道、一般県道を対象に算出。
高速道路：80km/h、中部横断：70km/h、一般道路：40km/h
山梨県庁から静岡県庁への移動時間を算出。

※2. 中部横断自動車道(新清水JCT～双葉JCT)を利用しないという設定でアクセス時間を算出。

中部横断自動車道

- 当該区間は、急峻な山岳地帯を通過していることから、全延長49.0kmのうち、トンネル延長が約5割、橋梁延長が約2割を占める。
- 新清水JCT～六郷IC間における用地進捗状況は、新清水JCT～富沢IC間約99%、富沢IC～六郷IC間100%取得済み。
- 工事が難航しているトンネルについては、十分な安全対策を講じつつ慎重に工事を推進(全27本のうち4本が工事中[23本については本体工完成])
- 橋梁については、トンネルと近接する箇所が多いことから、調整を図りつつ工事を推進(全54橋のうち18橋が工事中[36橋については架設完成])



① 矢島地区盛土
(2018.11撮影)



② 榎根第4トンネル
(2018.10撮影)



③ 椿川橋
(2018.11撮影)



④ 中富IC
(2018.11撮影)

[3工区] 下部温泉早川 I C～六郷 I C間の進捗状況【国交省施行】

- トンネル4本のうち、4本が完成。本体が完成したトンネルより、順次設備工事に着手。
- 橋梁8橋のうち、8橋が完成。
- 現在、擁壁等の改良工事、設備・舗装工事を実施中。



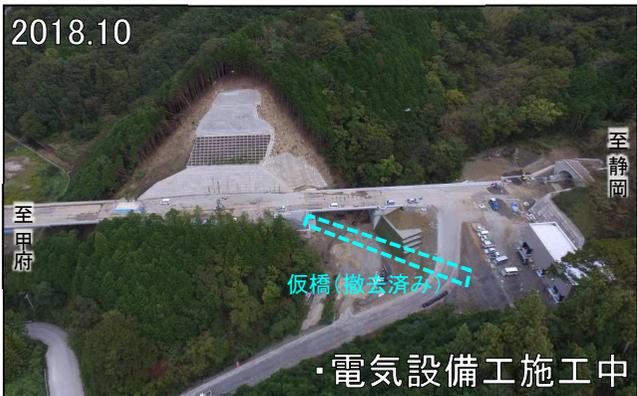
① いっしき 一色地区



② なかとみ 中富IC



③ しろやま 城山トンネル



新清水JCT～富沢 I C間の進捗状況【NEXCO中日本施行】

- トンネル8本のうち、8本が本体工完成。
- 橋梁13橋のうち、13橋が完成。
- 現在、設備・舗装工事を実施中。

■全体位置図

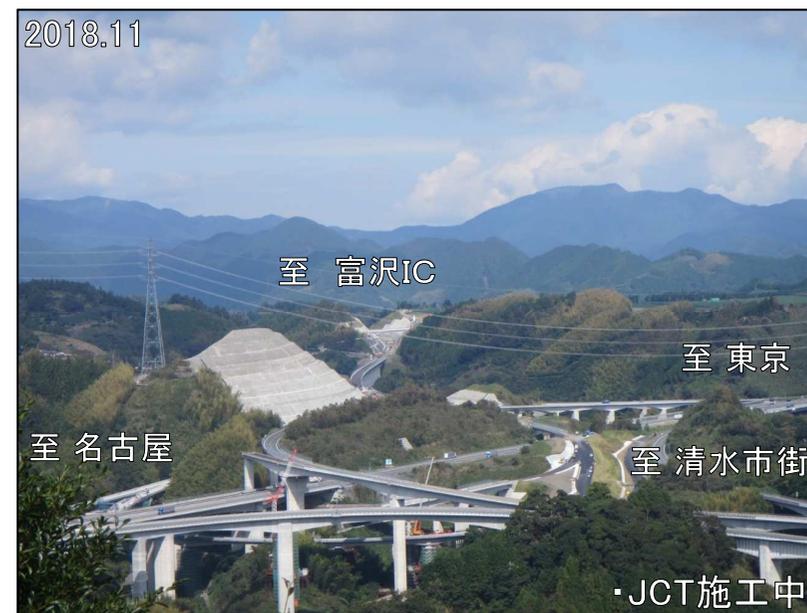


■新清水JCT～富沢IC間の進捗状況

しんしみず
①新清水JCT



しんしみず
①新清水JCT



新清水JCT～富沢 I C間の進捗状況【NEXCO中日本施行】

■新清水JCT～富沢IC間の進捗状況

よしわら
②吉原高架橋



よしわら
②吉原高架橋



ふくしがわ
③富士川第一橋



ふくしがわ
③富士川第一橋



新清水JCT～富沢 I C間の進捗状況【NEXCO中日本施行】

■新清水JCT～富沢IC間の進捗状況

ひがしねぐま
④東根熊トンネル



ひがしねぐま
④東根熊トンネル



とみざわ
⑤富沢本線料金所



とみざわ
⑤富沢本線料金所



事業の投資効果

＜物流の効率化＞

- ・山梨県から東京港・横浜港への輸送ルートは、高速道路が整備されており、ドライバーに負担が少ない輸送が可能。
 - ・一方、清水港と直結する国道52号は、特殊車両※が走行する際に、徐行に加え前後誘導車の配置が必要な通行支障箇所が存在するなど、走行性や速達性に課題があり、ドライバーへの負担が増大。
 - ・中部横断自動車道の整備により、走行性の向上と所要時間の短縮が図られ、物流効率化を促し、さらに労働環境改善などにも寄与。
- ※車両の構造や輸送する貨物が特殊な車両。海上コンテナ用セミトレーラなどが含まれる。

山梨県から輸出港までのルート

・一般道(国道52号)利用の場合、走行性が劣り、所要時間がかかるためドライバー負担が増大。

・走行性の良い高速道路が整備されており、ドライバーに負担がかからない輸送が可能。



国道52号の特殊車両通行支障箇所

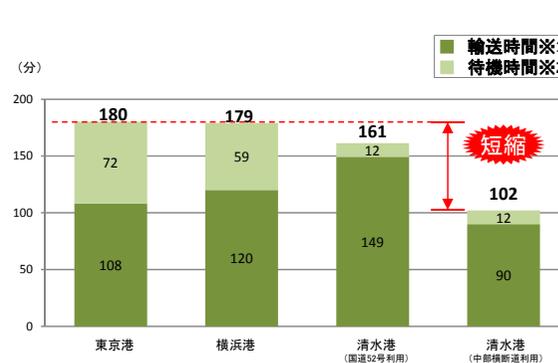


国道52号の通行支障箇所



H28.10撮影

所要時間短縮による労働環境改善への寄与



中部横断道の整備により、清水港を利用すると、東京港や横浜港に比べて約80分※3短縮可能であり、労働環境の改善に寄与。

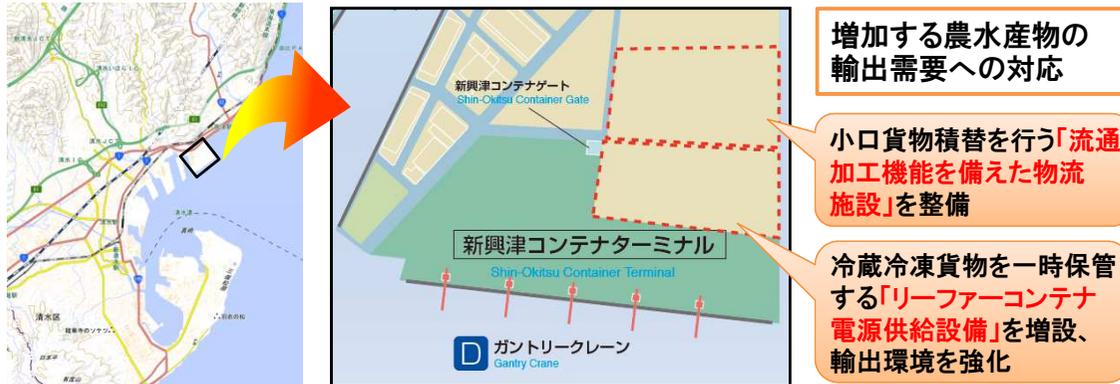
※1：県道以上を対象に算出
(高速道路：80km/h、中部横断：70km/h、一般道路：40km/h)
※2：各港のコンテナ車両待機時間調査結果
(東京都トラック協会海上コンテナ専門部会、神奈川県トラック協会海上コンテナ専門部会、清水港利用促進協会)
※3：港への輸送時間と港における待機時間の合計による時間差

事業の投資効果

<農産物の海外輸出支援>

- ・現在、清水港では農水産物の輸出促進に向け、2024年に2016年の約2倍にあたる200億円の輸出を目標とし、リーファーコンテナ電源供給設備等、港湾施設を整備中。
- ・山梨の主要農産品であるモモ・ブドウ等の海外(台湾・香港)への青果物輸出は、山梨県知事のトップセールスをはじめとした海外への山梨ブランドのアピールを積極的に取り組み、増加傾向。
- ・中部横断自動車道の整備、清水港の取り組みの相乗効果によって山梨県産の果実の高付加価値化に期待。

清水港における港湾施設整備の状況



■清水港の農水産物輸出目標額

高規格幹線道路網整備効果と今後の取組による需要掘起こしを考慮



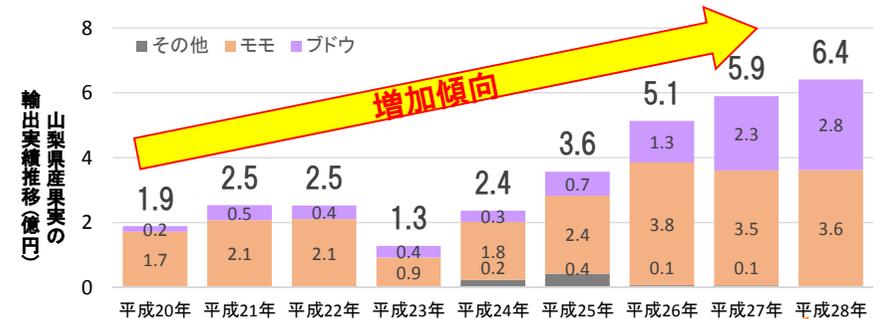
■リーファーコンテナ電源供給設備

内部を一定温度に保つ設備をもつコンテナ。冷凍・冷蔵の必要がある食品や医薬品などの輸送に利用。



出典：国土交通省港湾局記者発表資料（2016実績は財務省 貿易年表（H28））

山梨県における青果物の海外輸出状況



平成28年は香港(63%)、台湾(29%)、シンガポール(5%)、タイ(2%)等、東南アジア諸国を中心に輸出

出典：山梨県農政部

山梨県知事による海外でのトップセールス

■トップセールス実施状況 (H28.10)



平成27年
シンガポール
インドネシア
平成28年
タイ、インドネシア
マレーシア
平成29年
台湾、ベトナム
インドネシア

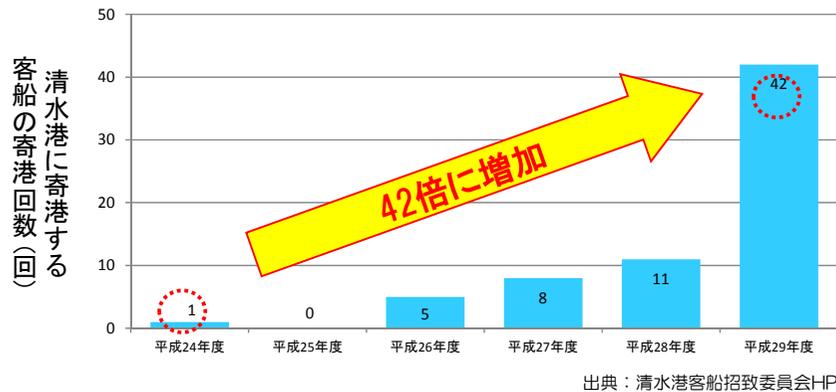
事業の投資効果

<インバウンド観光の促進>

- ・清水港は平成29年に国際旅客船拠点形成港湾に指定され、寄港する国際クルーズ船は平成24年から42倍に増加。
- ・中部横断自動車道沿線にはアジア圏の訪日旅行者に人気のある観光資源が集中。
- ・中部横断自動車道の整備により、新たな観光ルートが形成されることで、清水港のインバウンド観光の更なる増加、山梨県への国際クルーズ船の訪日外国人観光客の獲得に期待。

インバウンド観光のニーズ

■ 清水港の国際クルーズ船の寄港回数



■ 訪日旅行者が行ってみたい観光地

順位	回答者→	アジア全体			
		韓国	中国	台湾	
	サンプル数	4,149	521	533	504
1	桜	67	39	65	64
2	富士山	62	34	68	61
3	温泉	64	74	64	65
4	日本的な街並み	60	58	49	70
5	日本庭園	45	39	38	47
6	日本旅館	51	47	41	58
7	城	44	35	27	52
8	新幹線	47	29	29	48
9	雪景色	50	33	43	51
9	神社仏閣	39	17	26	57

桜、富士山、温泉が人気

出典：「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査（平成29年版）」
公益財団法人 日本交通公社

中部横断自動車道を利用した新たな観光ルートイメージ



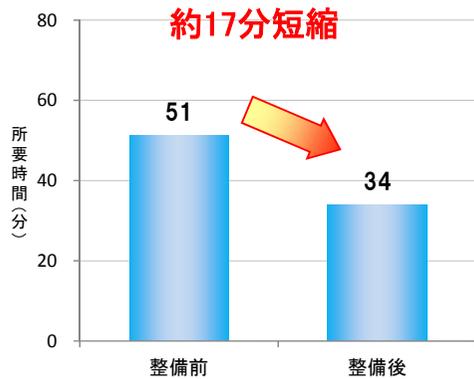
事業の投資効果

<救急医療活動の支援>

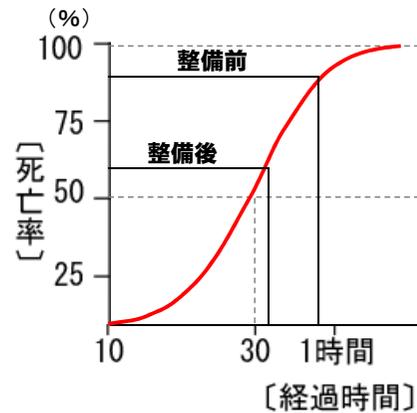
・中部横断自動車道の整備により、身延町役場から山梨県立中央病院への所要時間が約17分短縮するなど、周辺地域から第3次医療施設までの所要時間が短縮され、1時間以内に搬送可能な圏域が拡大することで、救命率の向上が見込まれる。

中部横断自動車道の周辺地域の現状

■身延町役場～山梨県立中央病院の所要時間 ■多量出血時のカーラー救命曲線

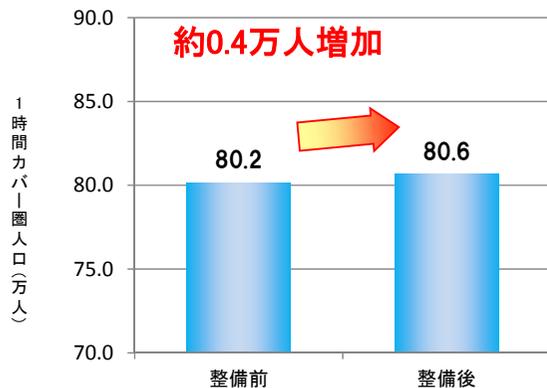


算出条件：県道以上を対象に算出
（高速道路：80km/h、中部横断：70km/h、一般道路：40km/h）。



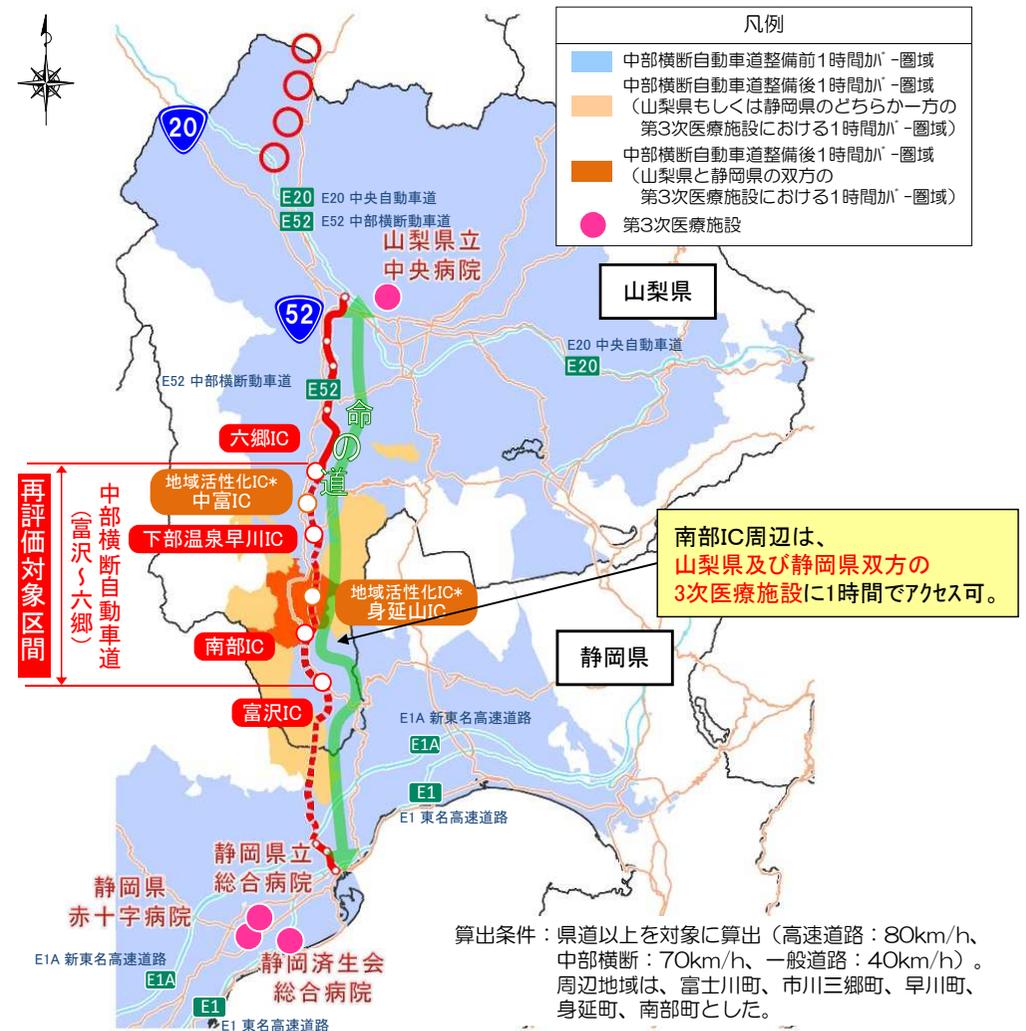
出典：「カーラーの曲線」一部改変
（M.Cara:1981）

■山梨県における第3次医療施設1時間カバー人口



出典：H27国勢調査メッシュデータ

山梨県及び静岡県第3次医療施設の1時間カバー圏が拡大



*地域活性化ICとは、地方公共団体が主体となって発意し、整備する追加インターチェンジ

事業の投資効果

＜災害時における代替道路の確保＞

- ・中部横断自動車道が通過する地域は、地形や地質等の特性から事前通行規制区間が3箇所存在しており、過去には大雨により度々通行止めが発生。
- ・国道52号が通行止めとなった場合、急峻な山々に囲まれた集落が孤立する危険があり、信頼性の高い代替道路の確保が必要。
- ・中部横断自動車道の整備により、リダンダンシーの確保や孤立集落の解消が期待される。

多発する国道52号の通行止め

中部横断自動車道の整備に伴う脆弱なネットワークの解消

■国道52号の雨による通行規制履歴(H23年度～H29年度)

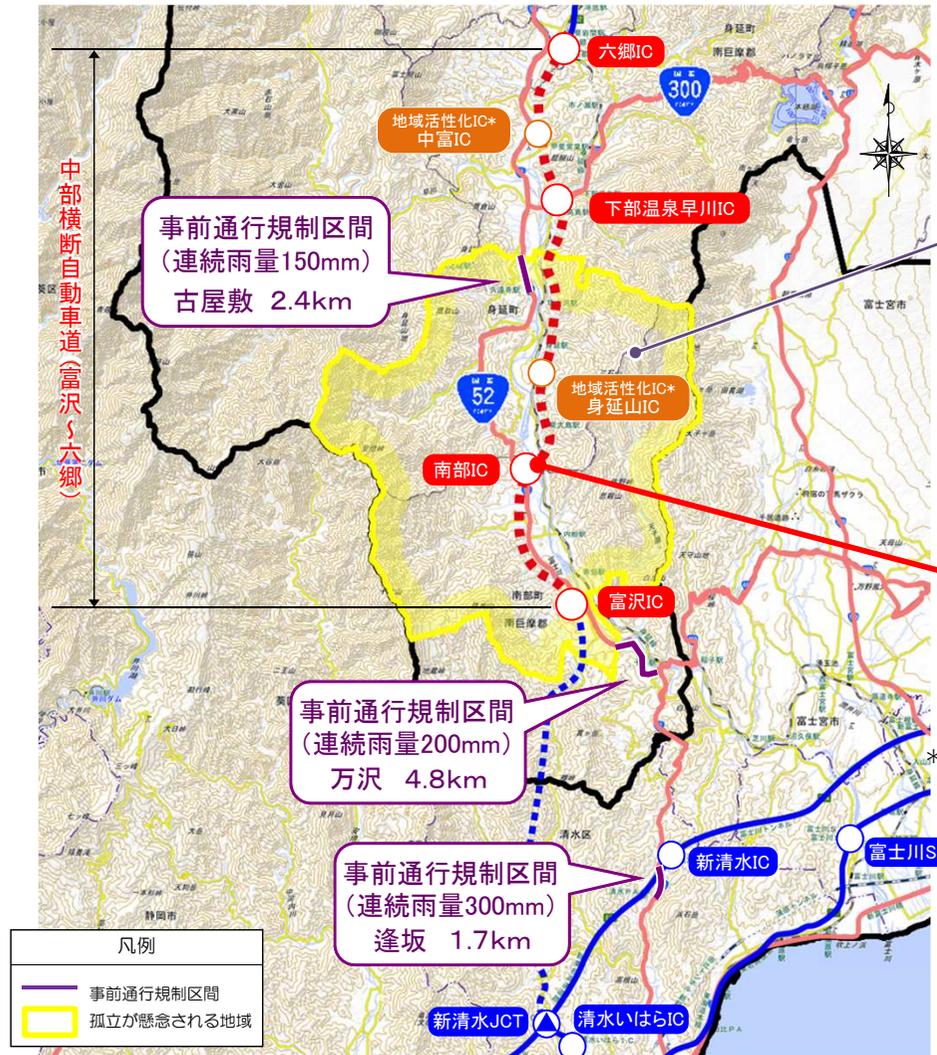
規制区間名	規制回数	のべ規制時間
万沢	7回	60時間10分
古屋敷	7回	57時間00分
逢坂	5回	31時間40分

出典：甲府河川国道事務所
静岡国道事務所 資料

国道52号（身延町万沢）



H26.10撮影



凡例	
	事前通行規制区間
	孤立が懸念される地域

「古屋敷」と「万沢」が同時に通行止めになった場合、孤立が懸念される人口

約11,200人

出典：H27国勢調査より算出

「古屋敷」と「万沢」が通行止めになったとしても、中部横断自動車道を利用した迂回が可能

孤立集落の発生を回避

*地域活性化ICとは、地方公共団体が主体となって発意し、整備する追加インターチェンジ

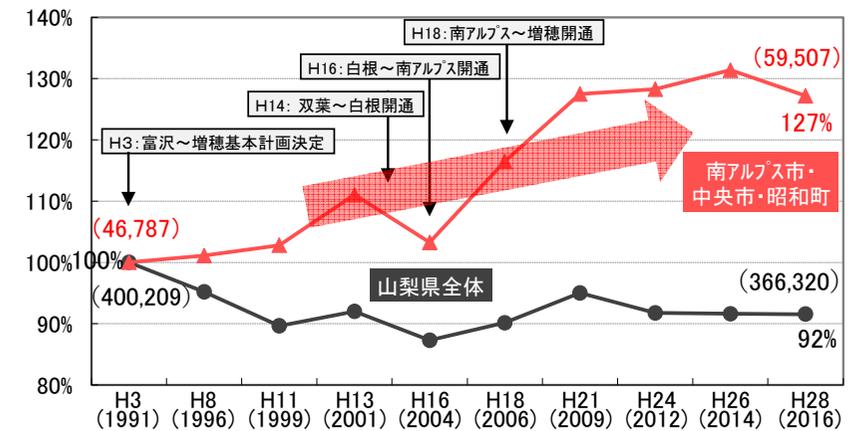
事業の投資効果

＜物流効率化による雇用・人口増＞

- ・中部横断自動車道は、平成14年から着実に部分開通し、平成29年に六郷ICまで開通。
- ・開通に伴い、過去25年間で沿線3自治体の従業者数は27%(約1.3万人)増加。
- ・従業員数の増加に伴い、沿線自治体の人口は21%(約2.1万人)増加。
- ・今後、開通予定の六郷IC以南の開通により、周辺地域の人口増加に期待。

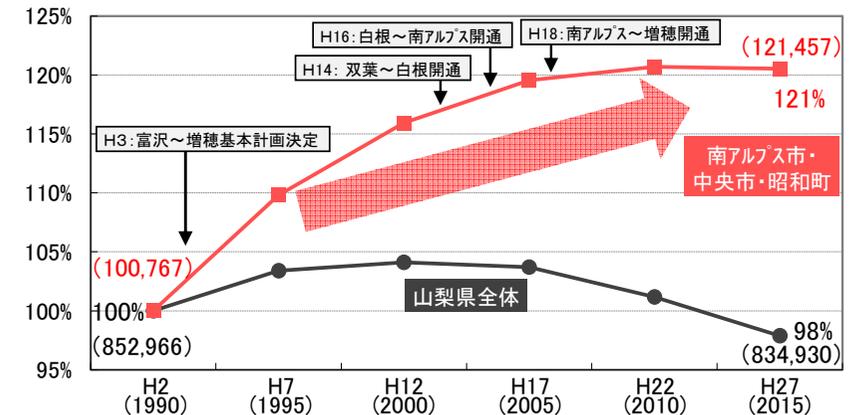


■ 沿線自治体の従業者数の推移 (平成3年を100%)



出典：事業所企業統計調査(～H18)・経済センサス基礎調査・活動調査(H21～)を元に算出
※民営のみを対象に集計
各年調査時点の従業者数

■ 沿線自治体の人口の推移 (平成2年を100%)



出典：国勢調査
※各年調査時点の人口